

武庫川女子大学言語文化研究所
言語文化セミナー(平成30年度春季)

漢文と

参加無料

申込締切
3月6日(水)

平成31年3月9日(土)

13:30~15:30(受付13時~)

武庫川女子大学中央キャンパス
文学1号館8階 L1-802(正門よりお入りください)

講師 柴田 清継 氏(武庫川女子大学 文学部教授)

司会 玉井 暲(言語文化研究所所長・英語文化学科教授)

講演要旨

昨夏の西日本豪雨の後、かつて広島県の被災地のあちこちに建てられていた漢文「水害碑」のことが報道されました。漢文で書かれていたため、昔の悲惨な経験が必ずしも後の世には生かされなかったようです。

日清戦争のとき、日本の漢詩人たちの多くが日本軍を鼓舞し、日本軍の勇敢さをたたえ、敵の清国を懲らしめる漢詩を詠みました。日本人が敵国の言語で詩を作り、自国の勝利を喜ぶ心理。考えてみれば、奇妙なことです。

以上のようなことを話の糸口として、日本人にとって漢文とは何だったのか、そして今、何なのかということを考えてみたいと思います。

■申込方法

メール・ファクシミリ・ハガキのいずれかでお申し込みください。

メールアドレス: ilc@mukogawa-u.ac.jp

FAX: 0798(45)3574

主催: 武庫川女子大学 言語文化研究所

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46(阪神鳴尾駅下車 徒歩7分)

TEL: 0798(45)3536

日本人

